

平成29年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 総合体育大会 柔道大会 要項

- 1 主催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟
- 2 主管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部
- 3 大会期日 平成29年7月15日(土) 7時00分 開場 7時50分 集合・計量
8時30分 審判会議 8時45分 開会式
9時00分 試合開始
- 4 会場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905
スポーツ振興課 0270-74-1113
- 5 大会役員
専門部長 松本 明良(宮郷中)
専門副部長 菅沼 明広(境南中)
専門委員長 三輪 洋介(宮郷中)
委員 星野 治道(第一中) 竹林 千晴(第一中) 新井 聡明(第二中)
草場健一郎(第二中) 橋本 和也(第三中) 木村 弘枝(第三中)
高橋 哲(第四中) 芳賀 武史(殖蓮中) 豊島 俊春(殖蓮中)
今泉 敦子(宮郷中) 坂部 洋平(赤堀中) 諸岡 知晃(赤堀中)
木暮 寛幸(あずま中) 工藤 千晶(あずま中) 佐藤 康(境南中)
中寫祐一郎(玉村中) 萩原 夏海(玉村中) 柿沼 翔太(玉南中)
野口 高弘(玉南中)
- 6 審判規定
国際柔道連盟試合審判規定(2017~2020)および「少年大会特別規定」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、佐波伊勢崎中体連申し合わせ事項によって行う。
- 7 選手
(1)男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名選手5名補員2名とする。
(2)女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名選手3名補員1名とする。
(3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。
なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。
(4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。
(5)団体戦において補員の充当により抜けた選手も、個人戦には出場できる。
(6)個人戦は、各体重別とする。
<男子> 50Kg以下, 50kg超 ~ 55Kg以下, 55Kg超 ~ 60Kg以下, 60Kg超 ~ 66Kg以下,
66Kg超 ~ 73Kg以下, 73Kg超 ~ 81Kg以下, 81Kg超 ~ 90Kg以下, 90Kg超
<女子> 40kg以下, 40kg超 ~ 44Kg以下, 44Kg超 ~ 48Kg以下, 48Kg超 ~ 52Kg以下,
52Kg超 ~ 57Kg以下, 57Kg超 ~ 63Kg以下, 63Kg超 ~ 70Kg以下, 70Kg超

8 試合時間

《団体戦》 予選リーグ 2分 決勝トーナメント 3分

《個人戦》 準々決勝まで 2分 準決勝・決勝 3分

9 試合方法

《団体戦》

団体戦における優勢勝ちの判定基準に「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

(1) 男子は1組を3校のリーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位2校、6校によるトーナメント戦を行う。女子は1組を3校のリーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位2校、6校によるトーナメント戦を行う。

(2) リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

(オ) (エ)において同等の場合は、引き分けとする。

(3) リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。

(ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

(イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。

(オ) (エ)において同等の場合は、負けの内容による。

(カ) (オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

ただし、3校同等の場合は、代表選手3名によるリーグ方式を行う。

(4) トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

(オ) (エ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

《個人戦》

個人戦における判定基準は「技有」または「僅差」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

(1) 各階級でトーナメント戦を行う。

10 表彰

団体戦の優勝校には、優勝杯及び賞状を授与し、第2位校、第3位校には賞状を授与する。

個人戦は、各階級ごとに別途定める。

11 代表資格

《男子団体戦》 本大会では優勝校から第3位校が代表資格を持ち、3校が県大会に進出する。

《女子団体戦》 本大会では優勝校から第3位校が代表資格を持ち、3校が県大会に進出する。

《男子・女子 個人戦》各階級の優勝者が代表資格を持ち、県大会に進出する。なお、各階級の県大会シード選手を擁する階級については、シード選手を除いた上位第1位が代表資格を持ち、県大会に進出する。補欠者は、シード選手を除いた上位第2位とする。男子の各階級の選手登録が16名につき1名女子は各階級の選手登録が8名につき1名、代表資格者が増える。また、県大会シード選手が本大会のその階級の計量を通過できなかった場合は、県大会への出場資格を失うものとする。

12 佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》

- (1) 男子予選リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は2分とし、得点差がないときは時間無制限の延長戦(ゴールドスコア)により勝敗を決する。
- (2) 決勝トーナメントにおける代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときは時間無制限の延長戦(ゴールドスコア)により勝敗を決する。

《個人戦》

- (1) 得点差がないときは旗判定を行い、必ず勝敗を決する。ただし、準決勝、決勝、3位決定戦では得点差がないときは時間無制限の延長戦(ゴールドスコア)により勝敗を決する。

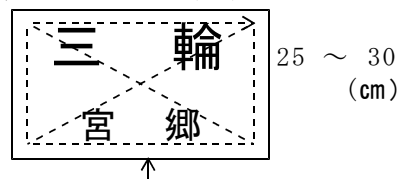
13 その他

- (1) 選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。なお襟から10cm下に下記のように付ける。
- (2) 相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。
- (3) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。)
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (4) 試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤、古番(下または右)を白とする。
- (5) 試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)を男子は2部、女子は1部を受付へ提出する。

(メンバー表)

先	次	中	副	大	学 校 名
					補 補 員 員
(模造紙1/4)					

(ゼッケン) 30 ~ 35 (cm)



- ・男子は黒、女子は赤文字
- ・対角線にも強い白い糸で縫いつける。
- ・指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。